

2023日精看版ラダー 普及に関する アンケート

実施期間：2023年10月22日～2023年11月22日

依頼方法：日精看ニュース・LINEを利用し広報

回収方法：クエスタント（WEBアンケート）

回答結果

回答：273 ※2022年度の解答は230名

有効回答：233

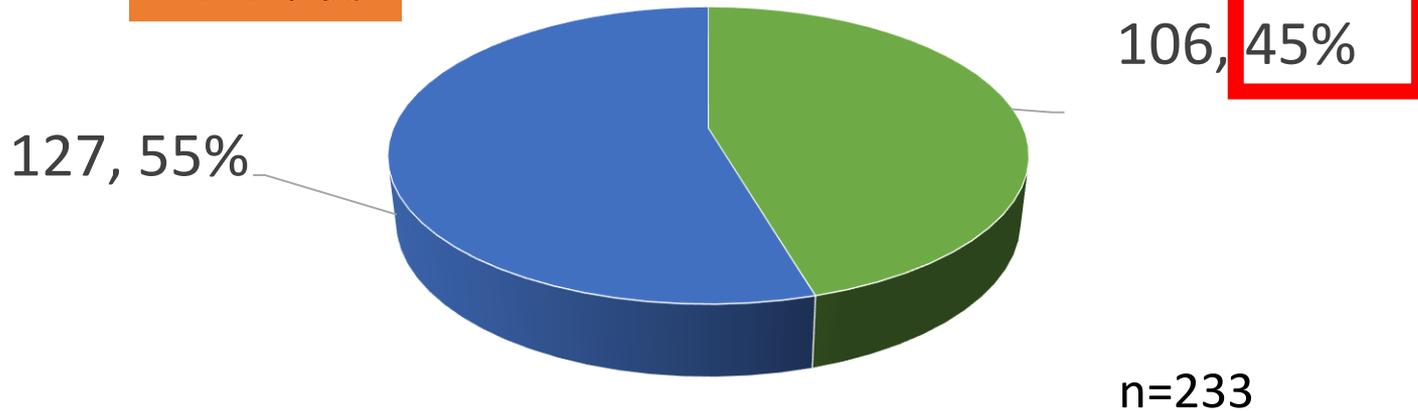
対象者：看護管理者もしくは教育を担当している方

除外した回答

- ・ スタッフで教育担当ではない 10
- ・ 教育機関の方 1
- ・ 重複施設 24（ラダーに関する意見記載が豊かな方を採用）
- ・ 無効回答 5

回答者の所属施設のラダー導入状況

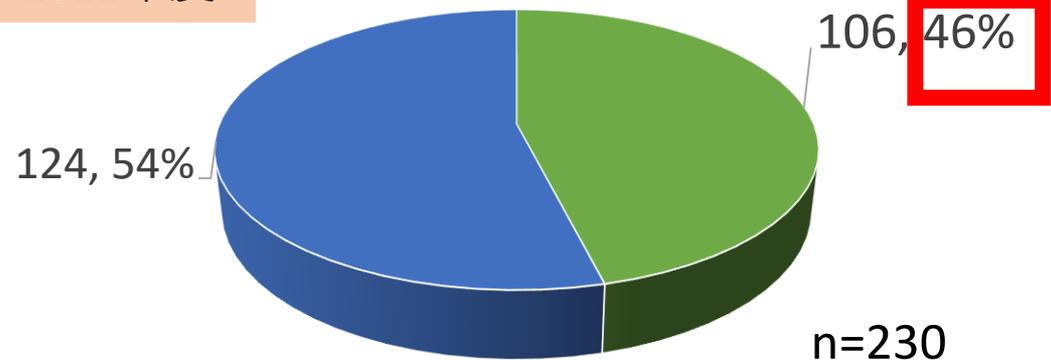
2023年度



■ ラダー導入 ■ ラダー未導入

- ・ラダー未導入の回答者がやや多い
- ・回答者のラダー導入状況は2022年度と同程度

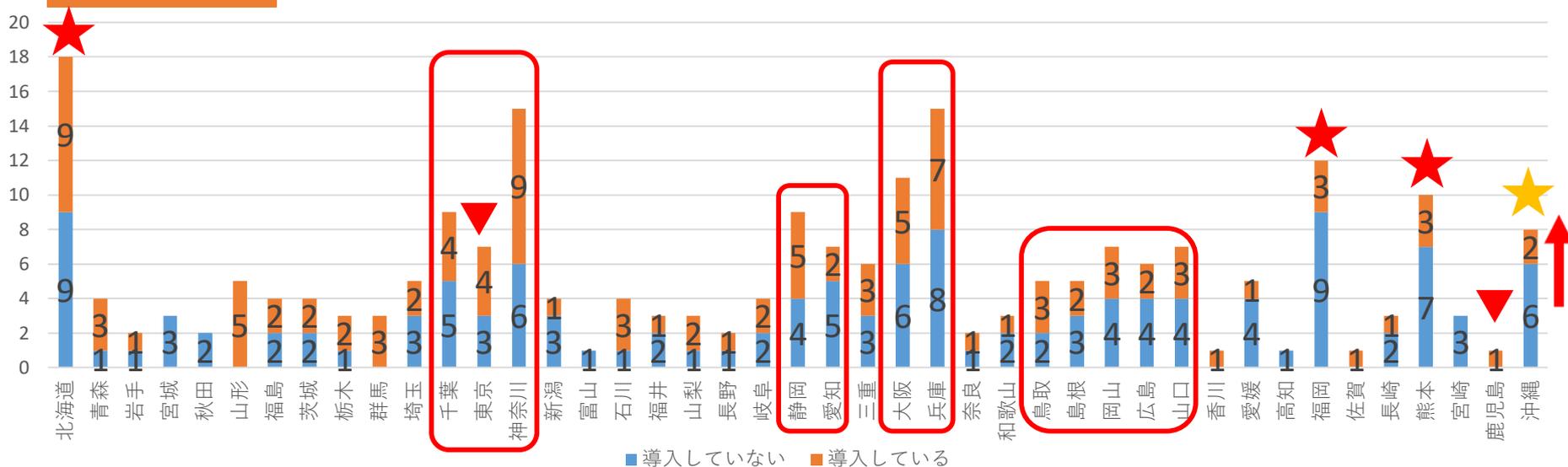
2022年度



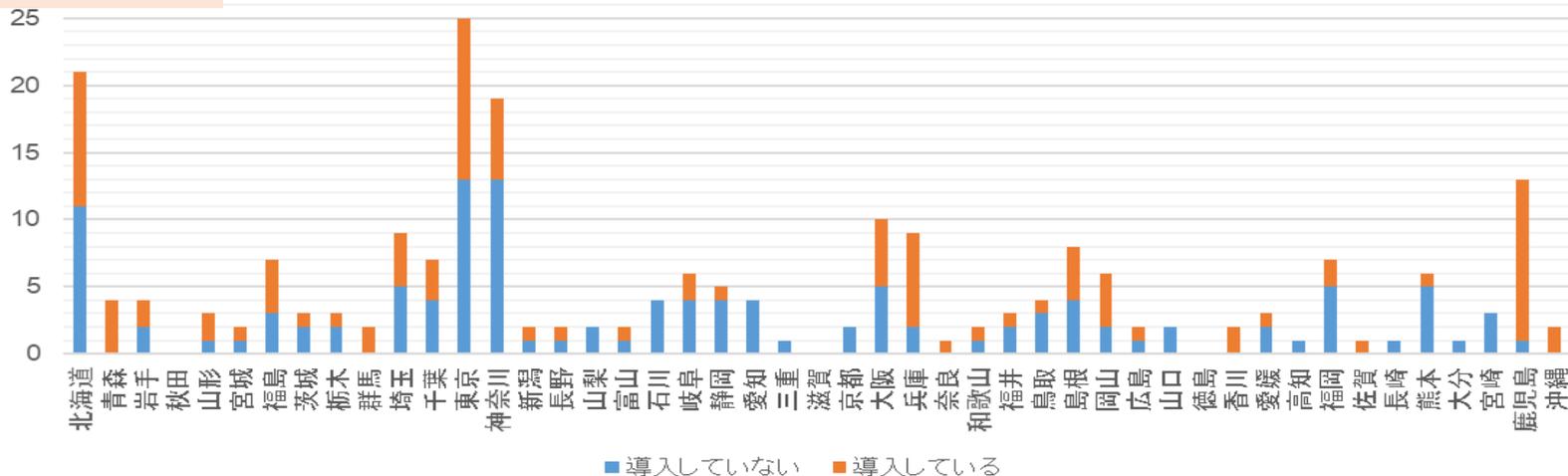
回答者の所属都道府県とラダー導入状況

n=233

2023年度



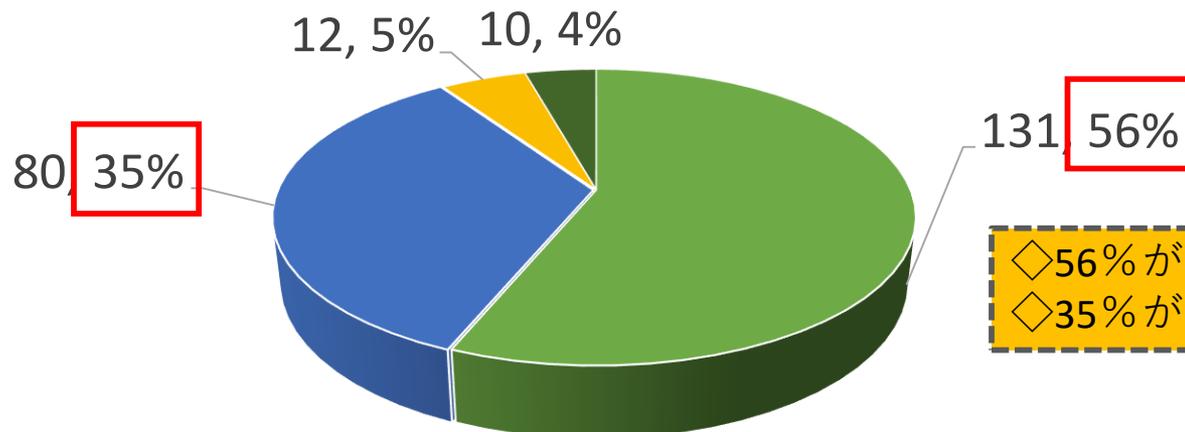
2022年度



n=230

回答者の職位とラダー導入状況

n=233



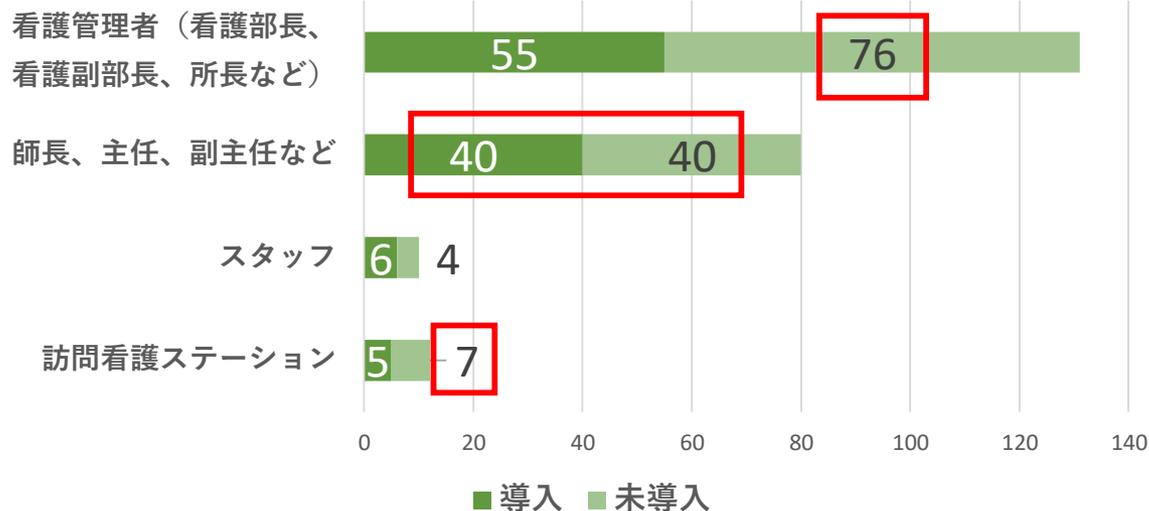
- 看護管理者 (看護部長、看護副部長、所長など)
- 師長、主任、副主任など
- 訪問看護ステーション
- スタッフ

◇56%が看護管理者からの回答
◇35%が師長・主任、副主任からの回答

◇看護管理者はラダー未導入の方がやや多い
◇師長、主任、副主任のラダー導入・未導入はほぼ同数
◇訪問看護ステーションは未導入がやや多い。

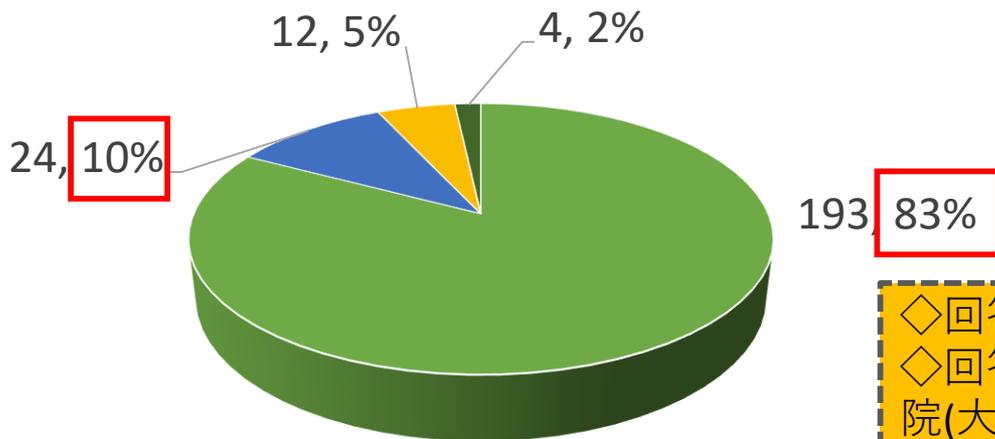
※2022年度のアンケートでは28施設から回答があり21施設導入していた。

回答者の職位別でみたラダー導入状況



回答者の所属機関とラダー導入状況

n=233

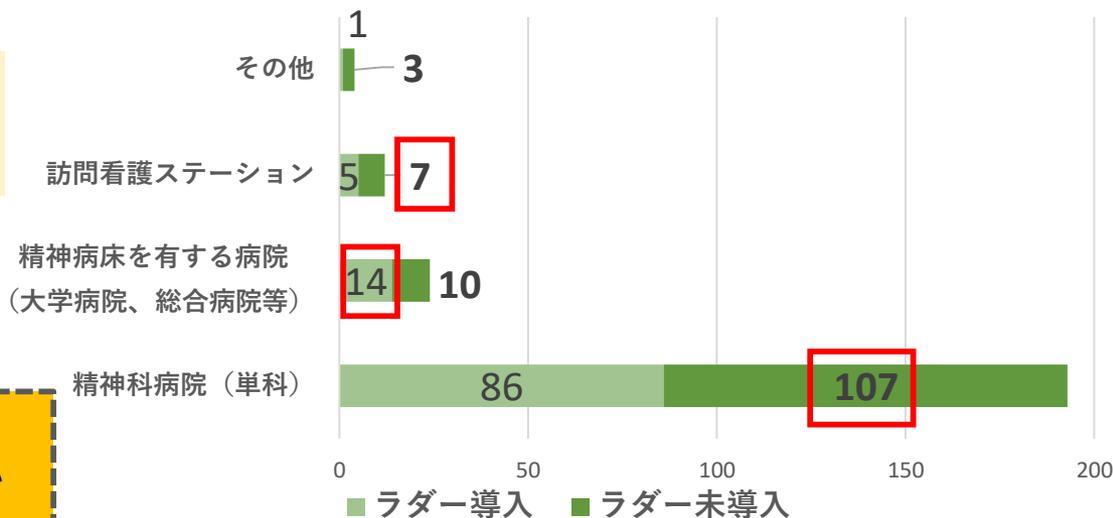


◇回答者の8割は精神科病院に所属
 ◇回答者の1割は精神科病床を有する病院(大学病院、総合病院等)

- 精神科病院 (単科)
- 精神病床を有する病院 (大学病院、総合病院等)
- 訪問看護ステーション
- その他

- ・急性期病院 1
- ・児童思春期精神科、小児病棟、難聴時支援 1
- ・精神科 内科療養病棟 1
- ・精神科、一般内科 1

所属機関とラダー導入状況

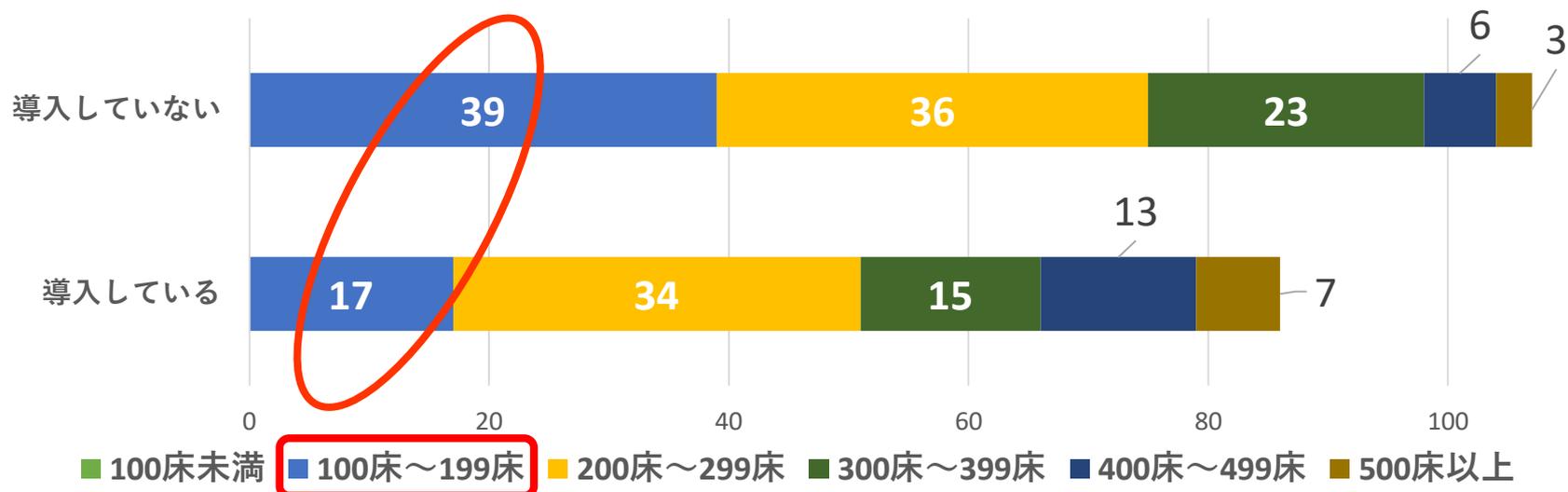


◇精神科病床、訪問看護ステーションでは未導入施設からの回答がやや多い
 ◇精神病床を有する病院では導入施設からの回答がやや多い

回答者が所属する施設の病床数とラダー導入状況（精神科単科）

2023年度

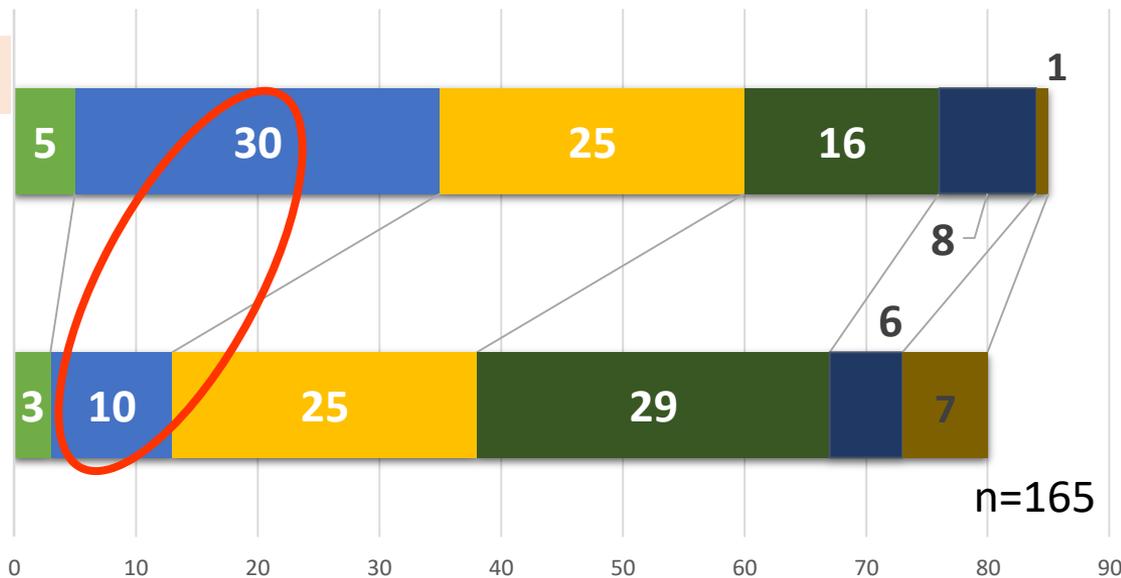
n=193



2022年度

導入していない

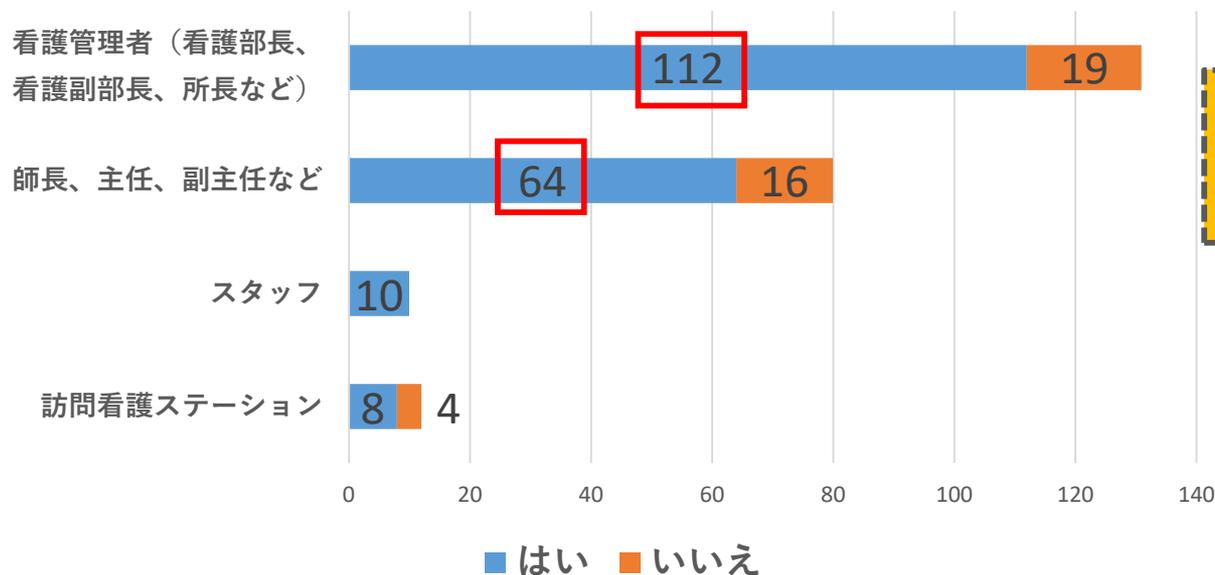
導入している



◇100床～199床では導入施設より、未導入施設からの回答が多い

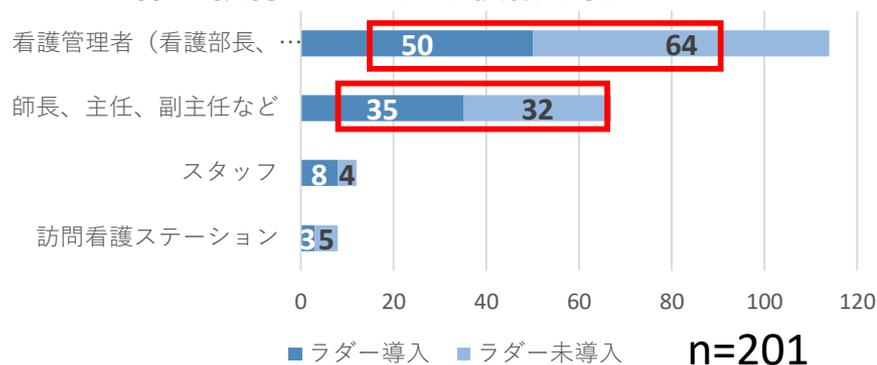
回答者の教育委員会の委員長や委員など 組織全体の教育にかかわる役割の状況

n=233



・管理者、師長、主任、副主任の回答者の多くが教育の役割を担っていた。

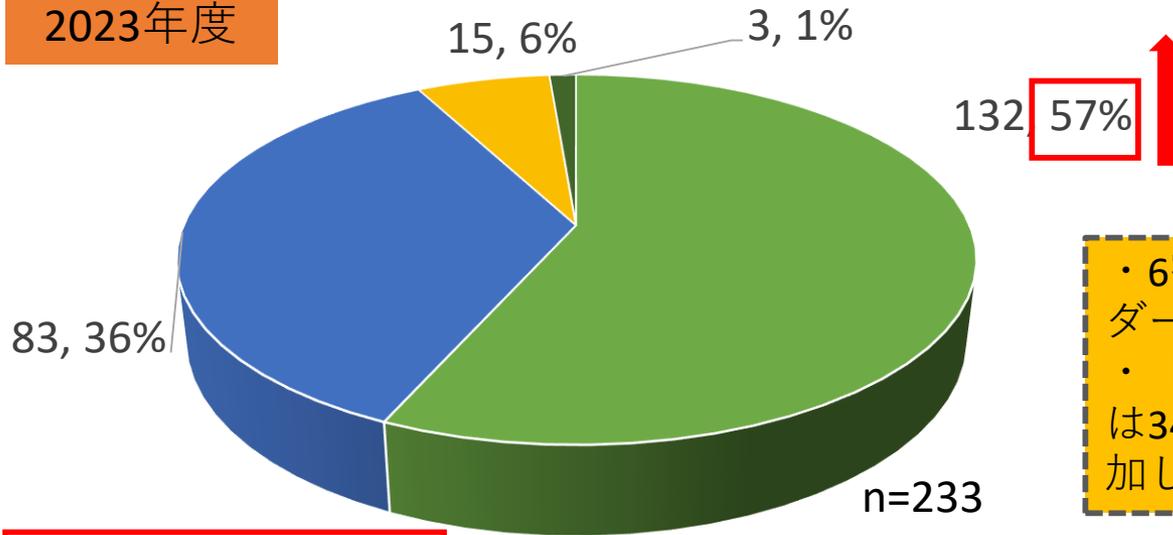
教育委員会の委員長や委員など、組織全体の教育にかかわる役割を担っている



・教育の役割を担っていると回答した管理者、師長、主任、副主任のラダー導入・未導入はほぼ同数だった。

日本精神科看護協会の「精神科看護職のクリニカルリーダー」の認知の状況

2023年度

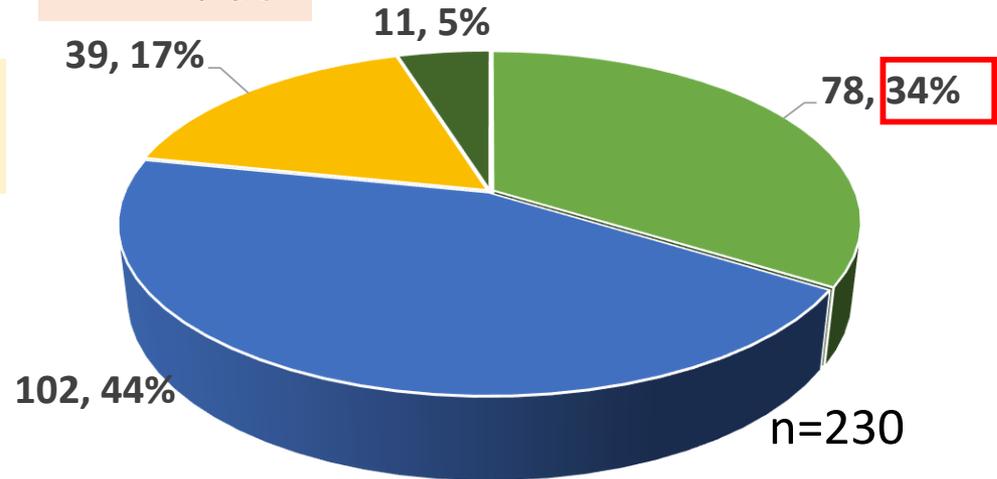


・6割近くが『日精看版クリニカルリーダー』の内容まで知っていた
 ・「内容まで知っている」が2022年度は34%だったが、2023年度は57%に増加していた。

- 内容まで知っている
- 見た・読んだことがある程度
- 聞いたことがある程度
- 知らない（聞いたこともない）

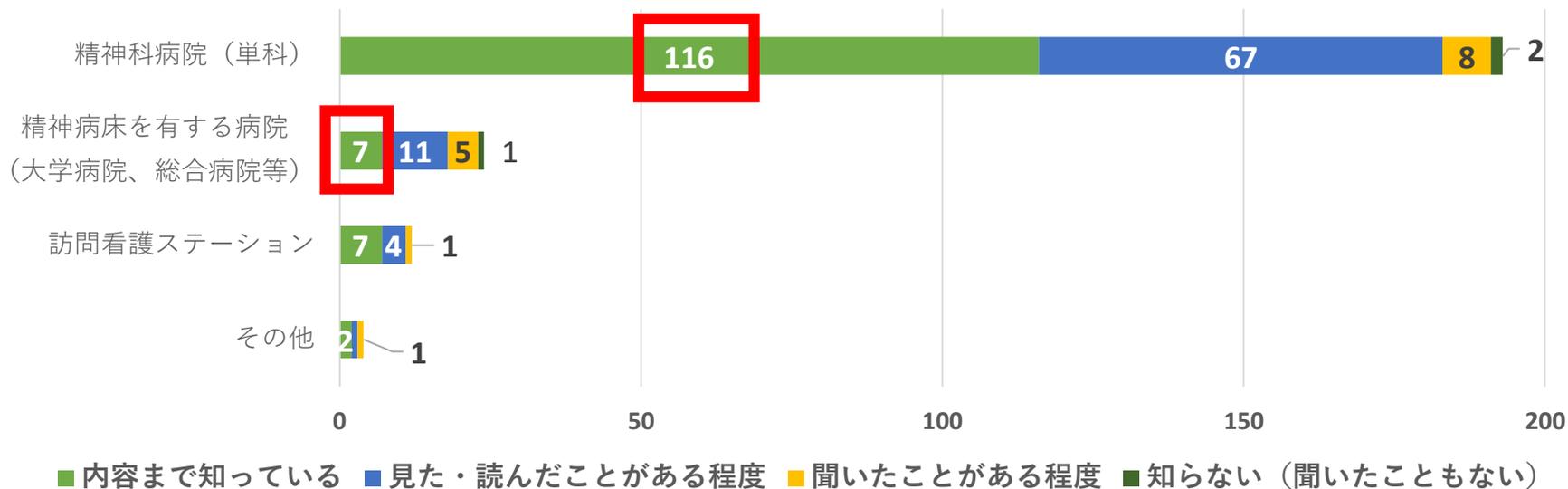
- ・精神科単科病院 2
- ・精神病床を有する病院（大学病院、総合病院等）1
- ※会員病院、看護管理者、師長・主任・副主任

2022年度



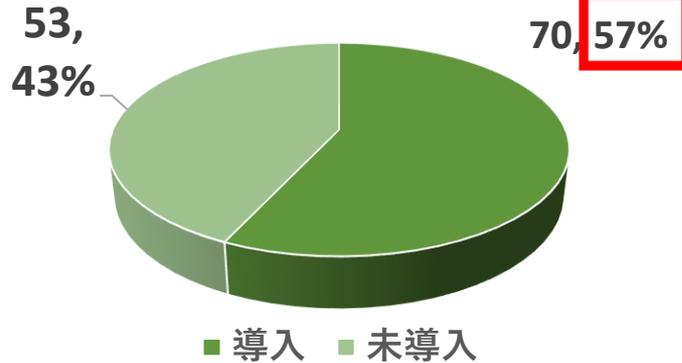
施設による日精看版ラダーの認知度

◇精神科病院では、半数以上の回答者が日精看版ラダーの『内容まで知っている』と回答
◇精神病床を有する病院では、日精看版ラダーの『内容まで知っている』は1/3程度だった



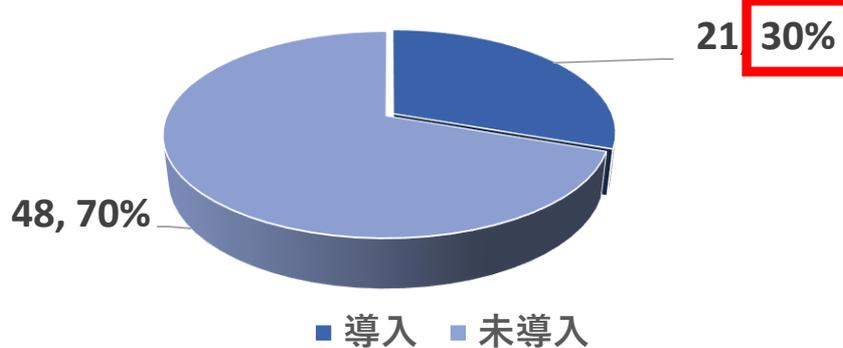
精神科病院の日精看版ラダー認知度とラダー導入状況

内容まで知っている



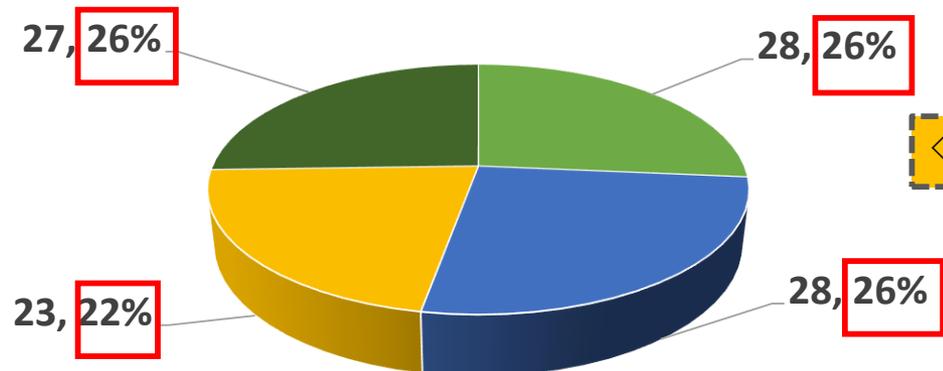
◇ラダーの「内容まで知っている」の回答者の方が、「見た・読んだことがある程度」の解答者よりラダー導入割合は高い

見た・読んだことがある程度



ラダー導入施設の導入年数

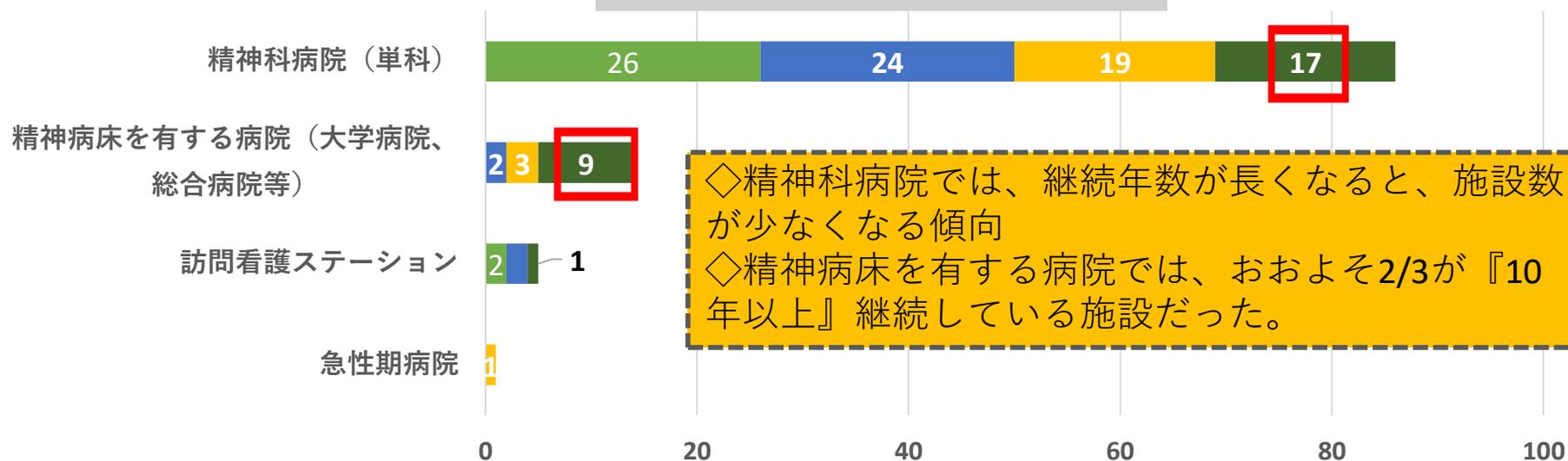
n=106



◇導入年数の割合はほぼ同程度だった。

■ 1年未満 ■ 1～5年 ■ 5～10年 ■ 10年以上

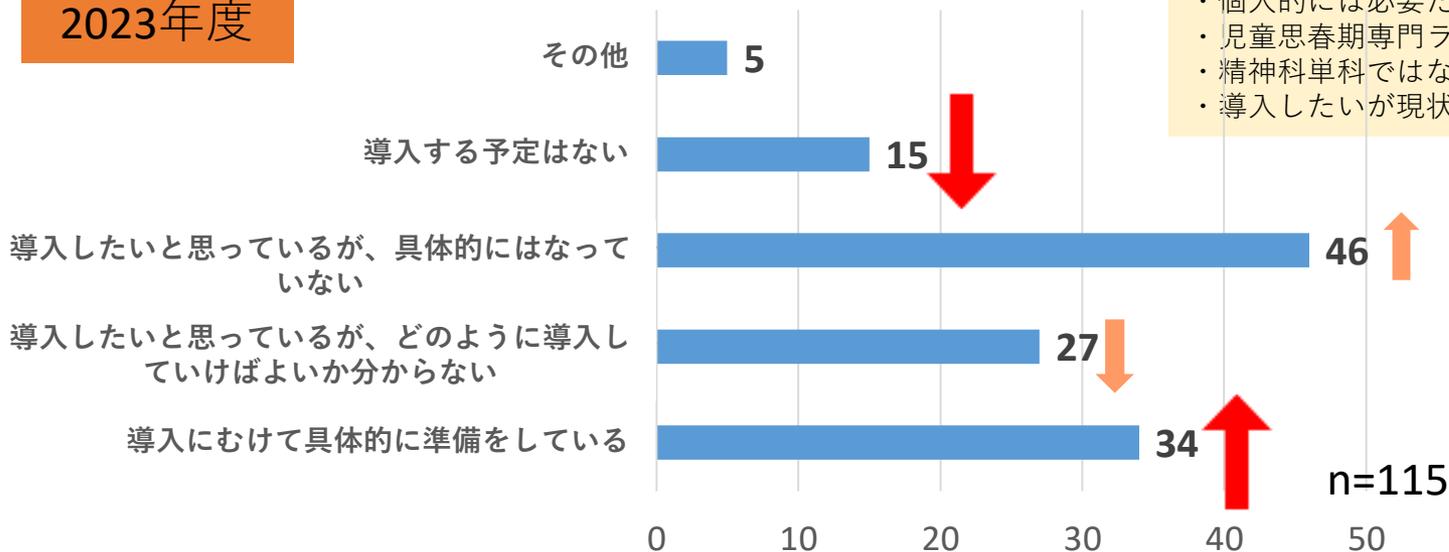
所属機関とラダー導入年数



◇精神科病院では、継続年数が長くなると、施設数が少なくなる傾向
 ◇精神病床を有する病院では、おおよそ2/3が『10年以上』継続している施設だった。

導入していない施設のラダー導入の意向

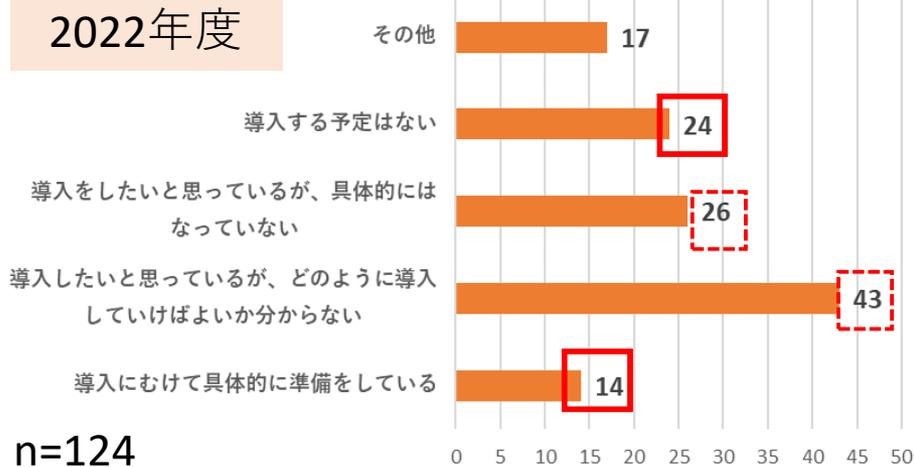
2023年度



【その他】

- ・検討段階
- ・個人的には必要だと思っている
- ・児童思春期専門ラダー開発の参考にしている。
- ・精神科単科ではないため運用が難しい
- ・導入したいが現状が厳しい

2022年度



2022年度と2023年度を比較すると

◇「導入に向け具体的に準備をしている」は増えた。

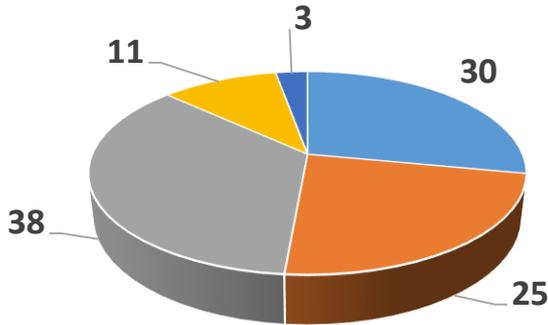
◇「導入する予定はない」は減った

※導入したいと思っているがどのように導入していけばよいか分からないが、減(43→27)

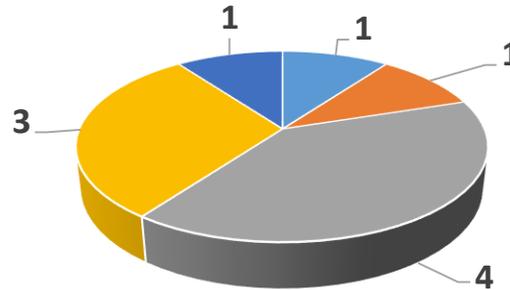
※導入したいと思っているが具体的になっていないが、増(26→46)

導入していない施設のラダー導入の意向

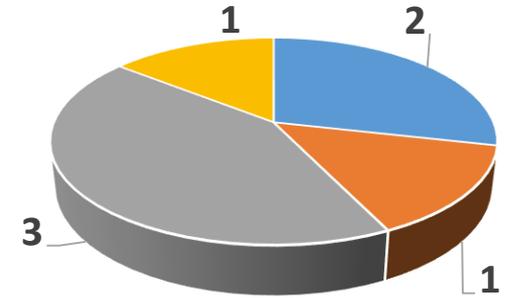
精神科病院



精神病床を有する病院
(大学病院、総合病院等)



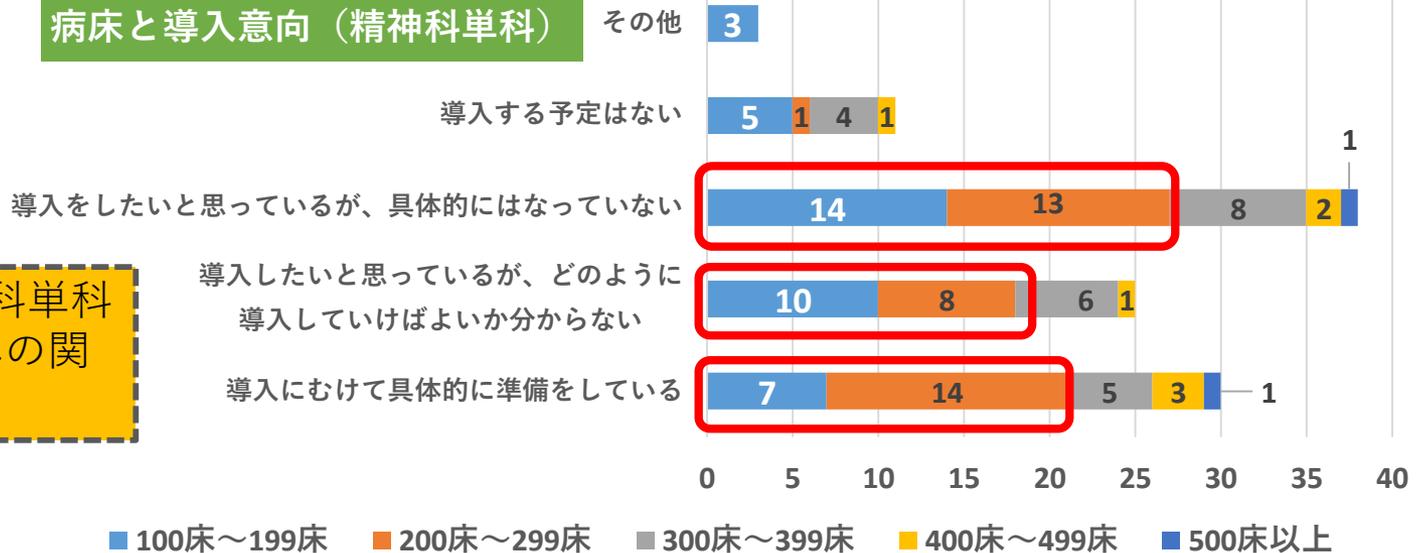
訪問看護ステーション



- 導入に向け具体的に準備をしている
- 導入したいと思っているが、どのように導入していけばよいか分からない
- 導入したいと思っているが、具体的にはなっていない
- 導入する予定はない
- その他

◇精神科病院、訪問看護ステーションでは、1/4程度は『導入に向け具体的に準備をしている』と回答したが、精神病床を有する病院では1割だった。

病床と導入意向（精神科単科）



◇300床未満の精神科単科病院のラダー導入への関心が高い

日精看版ラダーへの意見(導入の意向別)

導入する予定はない。

日精看への要望

ラダー導入についての研修会の開催

紙面だけでない多面的な啓発活動

日精看版ラダーの内容についての意見

評価項目が曖昧なため説明が難しい

導入したいと思っているが、どのように導入していけばよいか分からない。

日精看への要望

何から始めればよいか教えてほしい

ラダー導入の準備や組織への周知方法を教えて欲しい

導入に消極的な管理者へのアプローチ

日精看のサポート体制の充実

日本看護協会と日精看のラダーの共通点や特徴の解説

日精看版ラダーの内容についての意見

スタッフへの教育・指導時に参考にしている

具体的な到達内容が明示されている

日精看版ラダーへの意見(導入の意向別)

導入をしたいと思っているが、具体的にはなっていない

日精看への要望

ラダー導入・運用のためのマニュアル作成

- ・導入計画、時系列での準備の進め方

組織へ働きかけるための資料提供

- ・管理職に導入の意義などを分かりやすく説明するための資料を作成してほしい

ラダーをテーマにした支部研修会の開催

所属の都道府県のラダー導入状況の情報提供

ラダー導入の難しさ

評価者の育成が不十分

既卒の中途採用者の評価

日精看版ラダーの自院での活用

ラダーの指標を人事考課面接の到達目標に活用し、導入にむけ意識化していきたい。

よくできているので導入していければと考えている

ラダーについて学び、導入を検討したい

日精看版ラダーの内容についての意見

評価方法がばらつかないような指標の提示を希望

日精看版ラダーへの意見(導入の意向別)

導入にむけて具体的に準備している

日精看への要望

具体的な導入方法を教えてほしい

- ・運用にあたっての必要物品、年間スケジュールなど
- ・日精看ニュースの特集だけでは分からないことが多い

ラダー導入・運用のためのマニュアル作成

- ・導入準備、評者面接の時期や方法、レベルアップ
- ・評価者のためのマニュアル

評価者のための研修会の開催

サポート体制の充実

- ・チャットで質問できるなど体制の充実

日精看版ラダーの内容についての意見

各レベルごとの評価基準の提示を希望

到達目標の可視化を希望

情報量が多い

ラダー導入の難しさ

民間の精神科病院でどのように活用していけばよいのか

評価の視点の定まらなさ

組織としての取り組みへの課題

- ・ラダー導入に対する管理者の方策や熱意が伝わってこない
- ・他施設のラダーをそのまま導入
- ・ラダー担当者だけに役割が集中しサポート体制が不十分

日精看版ラダーの自院での活用

現在使用しているラダーのブラッシュアップに活用

日精看版ラダーへの意見(導入経年別)

導入1年未満

日精看への要望

意見交換会の開催

- ・ 他院の看護の質向上つなげる工夫やラダーの評価方法を聞きたい
- ・ ラダー導入施設の経験談を聞きたい

ラダー活用のための研修会

ラダーレベルに応じた研修会の提案

学習内容の助言や参考資料の提供

他施設の取り組みを知れるシステム

ラダー導入の難しさ

ラダーの文言の解釈が難しい

導入したが、評価者も手探りで実施している

日精看版ラダーの自院での活用

精神科のラダー作成の際に参考にした

日精看版ラダーの内容についての意見

精神科にあった内容で分かりやすい

日本看護協会のラダーのようにシンプルにしてほしい

日精看版ラダーへの意見(導入経年別)

導入1～5年

日精看版ラダーの内容についての意見

関係構築の項目がわかりやすい

日本看護協会のラダーとの整合があるとよい

- ・日本看護協会のラダーと比較できるとよい
- ・日本看護協会のラダーと統一したほうがよい
- ・日本看護協会のものに精神科特有の項目を入れてほしい

具体的な看護実践を取り入れてほしい

全体が把握しづらい

細かくしすぎている

内容が難しい

ラダー導入の難しさ

何を成果とするか迷う

評価基準が曖昧なため評価者により評価が変わる

日精看版ラダーの自院での活用

参考資料として活用している

日精看版ラダーへの意見(導入経年別)

導入5～10年

日精看への要望

意見交換会の開催

インターネットを介した書き込み型の情報交換の場

日精看版ラダーの自院での活用

現在のラダーを見直し日精看のラダーに変更し運用

日本看護協会のラダーに日精看のラダーを取り入れ運用

教育やスタッフ育成に活用予定

ラダー導入の難しさ

人員不足のため教育体制の整備や周知のための時間確保が困難

全スタッフに導入することによるコストへの不安

導入しているが定着が難しい

日精看版ラダーへの意見(導入経年別)

導入10年以上

日精看への要望

評価面接の研修会

マネジメント・ラダーの作成

ラダー導入の難しさ

ラダーの理解をしてもらうのが難しい

総合病院独自のラダーがあり併立が難しい

日精看版ラダーの内容についての意見

看護師の成長を可視化できる

実践を評価する上で参考になる

具体的な行動目標がわかり活用しやすい

日本看護協会のラダーと同じ枠組みだと活用しやすい

日本看護協会の生涯学習ガイドラインとの関連の有無

日精看版ラダーの自院での活

現在のラダーを見直し日精看のラダーに変更し運用

日本看護協会と日精看のラダーをミックスしている

現在のラダーの見直しなどに参考にしている

まとめ

- 2022年度実施アンケートと回答数は同程度
 - 2022年度、2023年度とも回答の6割弱が未導入施設からの回答だった
 - 2022年度と比較すると、日精看版ラダーの「内容まで知っている」という施設の割合が増えた
 - 2022年度と比較すると、未導入施設のうち『導入に向け具体的に準備を進めている』と回答した施設が増えた(14件⇒34件)
- 日精看版ラダーの認知度は上がり、導入にむけ取り組む施設が増えているか
- 未導入施設と回答した施設のうち、6割程度が導入の意向はあるが、導入にむけ具体的になってない、どのように進めればよいかわからない状況であった
 - 日精看への要望としては、意見交換会の継続やその他情報共有・発信(ラダーの周知)、ラダー導入のためのマニュアル作成(組織への働きかけ含む)、評価マニュアル、評価者研修があった。

ラダー導入へのサポート、ラダー定着へのサポートが求められている。また、日精看版ラダーの概要(背景や構成など)や活用について、広報を継続していく必要がある

今後にむけて

- 日精看版ラダーの周知・説明の機会を検討
- 意見交換会の継続にむけ方法や内容を検討
- マニュアル（導入・評価）や研修会の検討
- 日精看版ラダーを活用しながらラダーを運用している会員施設に力をかりる
- 『日精看版ラダーの内容への意見』については、ラダーの周知・説明時に引き続き丁寧に意図を説明していく
- **2024年度**のアンケートの目的や内容の検討